



さあ、答え合わせをしよう！

第28週目 1/25 行ってみよう～沖縄県(おきなわけん)からの出題

※ココを見てね! ▶行ってみよう～沖縄県(おきなわけん)

1. 沖縄県(おきなわけん)の島(しま)の数は?

正解:②160 島(とう)

沖縄県(おきなわけん)の特徴(とくちょう)を読めば、すぐにわかりますね。正解は、②160島(とう)です。人が住んでいる島が47、無人島(むじんとう)が113あります。島々の多くは、琉球石灰岩(りゅうきゅうせっかいがん)でできており、美しい海と自然(しぜん)、個性(こせい)ゆたかな生き物たちが生息(せいそく)しています。沖縄県(おきなわけん)は平均気温(へいきんきおん)23.1度と一年を通して暖(あたた)かく、観光地(かんこうち)としても人気です。人々は先祖(せんぞ)を大切に、祭りや祈(いの)りに対する信仰(しんこう)も厚(あつ)いとされています。ほかの地域(ちいき)と離(はな)れていたこともあり、独特(どくとく)の文化(ぶんか)が育(はぐ)くまれました。

2. 沖縄県では石灰岩(せっかいがん)の洞窟(どうくつ)から数多くの人骨(ひとこね)がみつかりました。何時代(なにじだい)のものですか?

正解:①旧石器時代(きゅうせきじだい)

人々が洞穴(どうくつ)で暮(く)らしていたのは、いつでしたか? 「調べてみよう～時代のながれ」をあらためて読んでみてください。正解は①旧石器時代(きゅうせきじだい)です。(3)の質問(しつもん)にもできますが、沖縄県(おきなわけん)には、ほかの地域(ちいき)のように、弥生文化(やよいぶんか)や古墳文化(こふんぶんか)は伝わりませんでした。今でも東京(とうきょう)から沖縄(おきなわ)へは飛行機(ひこうき)で3時間もかかりますから、あたり前(あたりまえ)かもしれませんね。

3. 沖縄県(おきなわけん)には弥生文化(やよいぶんか)や古墳文化(こふんぶんか)が伝わらず、独自(どくじ)の文化(ぶんか)が広(ひろ)まりました。それは何(なに)?

正解:①狩猟採集文化(しゅりょうさいしゅうぶんか)

「調べてみよう～もっと知りたい弥生時代(やよいじだい)」を読んでみてください。米(こめ)づくりがひろまった弥生時代(やよいじだい)にあって、北海道(ほっかいどう)と沖縄県(おきなわけん)には独自(どくじ)の歩(あゆ)みがありました。沖縄県(おきなわけん)の特徴(とくちょう)にも説明(せつめい)がありますね。正解は①狩猟採集文化(しゅりょうさいしゅうぶんか)。どちらの地域(ちいき)も大昔(おほむかし)から食べ物(たべもの)が豊富(ほうふ)で、獲物(えもの)をつかまえたり、魚(いし)をとったり、木(き)の実(み)やフルーツもたくさん食べられていました。手間(てま)のかかる米(こめ)づくりをする必要(ひつよう)がなかったのかもしれないね。

4. 世界最古(せかいさいこ)の釣り針(つりばり)がみつかったのは、何(なに)という遺跡(いせき)ですか?

正解:③サキタリ洞遺跡(さきたりどういせき)

正解は「お宝ベスト5」2つ目、③サキタリ洞遺跡(さきたりどういせき)です。ちょっと写真(しやしん)を見てください。23,000年前(23,000ねん)のものとは思(おも)えないほど、輝(かがや)きがあつて美しいですね。コレ、海中(かみづ)だと、もっとキラキラ光(ひかり)るんですよ。今(いま)でも魚(いし)を釣(つ)るときに「疑似餌(ぎじえ)」とよばれるニセモノの餌(えさ)を使い、魚(いし)に餌(えさ)だと勘違(かんちが)いさせて食(た)いつかせる方法(かた)があります。大昔(おほむかし)の人があみだした生活(せいかつ)の知恵(ちえ)が、今(いま)も生(な)かされているんですね。

5. 浦底遺跡(うらそこいせき)から出土(しゅつど)した斧(おの)は、何(なに)で作(つく)られていましたか?

正解:③シャコガイ

大昔(おほむかし)の宮古(みやこ)・八重山諸島(やえやましょとう)、先島諸島(さきしましょとう)では、縄文文化(じょうもんぶんか)も伝わらず、より南方(なんぽう)の地域(ちいき)にルーツをもつ文化(ぶんか)が広がりました。これらの地域(ちいき)では石斧(いしおの)を作るためのかたい石材(せきざい)がなかったことから、大型(おほなみ)のシャコガイを割(わ)って磨(みが)いた斧(おの)や貝斧(かいふ)を作(つく)っていたようです。正解は③、「お宝ベスト5」5つ目(ごつ目)を読んでたしかめてね。